

「野原はうたう」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「野原はうたう」の作者を漢字で書きなさい。

問2 「野原はうたう」は4つの詩からできているが、以下の【1】～【4】それぞれの詩が誰の視点で書かれているか、詩の中から書きぬいてそれぞれ4字以内で答えなさい。

【1】 あしたこそ ：

【2】 おれはかまきり ：

【3】 あきのひ ：

【4】 いのち ：

問3 「あしたこそ」では、表現技法が使われているが、【使われている一行】と、なんという【表現技法】が使われているか答えなさい。

【使われている一行】

【表現技法】

問4 「あしたこそ」の詩の季節を答えなさい。



問5 「あしたこそ」の詩のテーマとして最も適切なものを、次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：親が子供を心配する気持ち
- イ：春の光あふれるのどかな風景
- ウ：新たな旅立ちへの決意と希望
- エ：試練に何度も立ち向かう力

問6 「おれはかまきり」で使われている表現技法を答えなさい。

問7 「おれはかまきり」の詩の季節は夏だが、「おう なつだぜ」という行以外に、夏だということが分かる行を2つ書き抜きなさい。

問8 「おれはかまきり」では、「あまり ちかよるな」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：夏の厳しい暑さをうっとうしく思っているから
- イ：夏の暑さの中でも、ひとりでがんばろうと思っているから
- ウ：自慢のかまの手入れに夢中だから
- エ：夏になり力がみなぎった自分は危険だから

問9 「おれはかまきり」では、「きまっているぜ」とあるが、何がきまっているのか。詩の中から最も適切な1行を書き抜きなさい。



問10 「おれはかまきり」の詩のテーマとして最も適切なものを、次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：厳しい夏の暑さに耐える精神力
- イ：かまきりの孤独な自然との戦い
- ウ：運命を受け入れる覚悟と忍耐
- エ：小さな生き物の生命力と自信

問11 「あきのひ」では、「わたしは はなびらを ゆすりました」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：風がふいたから
- イ：ゆうひがしずんだから
- ウ：だれかによばれたから
- エ：あきのひにひとりで寂しかったから

問12 「あきのひ」で、ゆうひがしずむようすを表した言葉を、詩の中から抜き出して5字で答えなさい。

問13 「あきのひ」の詩の時間帯を答えなさい。

問14 「いのち」の詩の季節を答えなさい。

問15 「いのち」では、「わしの しんぞうは たくさんの ことりたちである」とあるが、ここで使われている表現技法を答えなさい。



問16 「いのち」では、「ふところに だいて」とあるが、これはどのような状態を表しているか、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：たくさんのごとりたちが、けやきの木にとまっているようす

イ：しんぞうがしっかりと脈うって、あたたかいようす

ウ：たくさんのごとりたちが、けやきのしんぞうを温めてくれているようす

エ：けやきが、いつまでもいきていくと決心をいだいているようす

問17 「いのち」では「だから わしは いつまでも いきていくのである」「だから わしは いつまでも いきていて よいのである」とあるが、ここで使われている表現技法を答えなさい。



「野原はうたう」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 工藤直子

問2 【1】たんぽぽ

【2】かまきり

【3】のぎく

【4】けやき

問3 【使われている一行】とんでいこう どこまでも

【使われている表現技法】倒置法

問4 春

問5 ウ

問6 対句（法）

問7 ・おう あついで

・もえる ひをあびて

問8 エ

問9 かまをふりかざす すがた

問10 エ



問 | 1 ア

問 | 2 くるくると

問 | 3 夕方（夕暮れ）

問 | 4 冬

問 | 5 ^{ひゆ} ^{いんゆ}
比喩（隠喩）

【解説】あるものを、他の似ているものにたとえることを「比喩」という。比喩の中でも、「まるで…ようだ」とはっきり例えるものを「直喩」、
「まるで…ようだ」という言葉を使わず、たとえているということがハッキリはわからないものを「隠喩」という。

問 | 6 ア

問 | 7 反復法

